

## 「個別の指導計画」記入例 9

「文章題や細かな作業が苦手で、自分の順番を待つことが難しい」小学校4年生の記入例です。

通級指導教室で指導を受けています。

様式1～3に学級担任が必要となる配慮事項等を記入し、通級指導担当者が作成した通級指導用の指導計画を合わせてとじ込んでいます。

作成時及び作成後も、学級担任と通級指導担当者が記載内容の検討や共通理解を図っています。

様式1は、特に支援や配慮が必要な教科について記入しています。

自立活動及び「国語」「算数」の内容を補充するための指導については、通級指導用の指導計画に記入しています。

様式2は、「その他」に、各教科等に共通の支援について記入しています。

様式3は、特に支援や配慮が必要な教科について記入しています。

自立活動及び「国語」「算数」の内容を補充するための指導については、通級指導用の指導計画に記入しています。

|      |       |       |       |               |
|------|-------|-------|-------|---------------|
| 学年・組 | 4 年 組 | 校長氏名印 | 担任氏名印 | 期間            |
| 氏 名  |       |       |       | 平成 年 月～平成 年 月 |

|                                  |  |                                  |   |
|----------------------------------|--|----------------------------------|---|
| 個別の<br>教育支援計画<br>長期目標<br>(概ね3年間) | その場面で必要な学習<br>活動に、見通しをもって<br>取り組むことができる。<br>状況や場面、相手の気<br>持ちに配慮した言動を身<br>に付ける。 | 個別の<br>教育支援計画<br>重点目標<br>(概ね1年間) | 教室で着席して活動に取り組むことができる。<br><br>友達とかかわる際のルールを理解する。 |
|----------------------------------|--|----------------------------------|---|

| 教科等   | 幼 児 児 童 生 徒 の 様 子 | 年 間 指 導 目 標  |   |
|---|-------------------|--|---|
| 教<br>算<br>数<br><br>・<br>理<br>領<br>科<br><br>域<br>図<br>工<br>等 | 国<br>語            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・話したいことはたくさんあり、よく話す、筋道を立てて話すことが苦手である。</li> <li>・聞く力は良好だが、教科書を読むときに一字ずつ読んでしまう。</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の言いたいことを分かりやすく伝えることができる。</li> <li>・教科書の文章を、まとまりをもって読むことができる。</li> </ul>                 |
|   | 算<br>数            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年相応の計算問題はできるが、文章題では、内容の理解が不十分なため、解くことが難しい。</li> <li>・加減法の計算はほぼ確実にできるが、小数点以下の計算が難しい。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗法や除法の文章題を式を立てて解答することができる。</li> <li>・整数、小数、分数の概念を理解し、簡単な加法や減法の計算をすることができる。</li> </ul>     |
|   | ・理<br>領<br>科      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験観察のような、実体験を伴う学習に意欲的である。</li> <li>・実験を一人でやり遂げたいという気持ちが強く、実験の手順や役割分担を守ることが難しい。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験器具の正しい使い方を理解し、ペアや小グループでの実験に参加する。</li> <li>・実験結果をもとに、自然の事物・現象について実感を持った理解を図る。</li> </ul> |
|   | 域<br>図<br>工<br>等  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を描くことに興味を示すが、ペンや筆の細かい動きが難しいため、途中で作業が途切れてしまうことがある。</li> <li>・様々な形から目的の図形を探し出したり、見本と同じように模写することが苦手である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手指の巧緻性の向上を図るとともに、形を正確に捉えることができる。</li> <li>・見通しをもって制作活動に取り組むことができる。</li> </ul>             |
|   | 授<br>業<br>参<br>加  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな事に対する意欲はあるが、自信がもてず、課題にうまく取り組めないことがある。</li> <li>・読んだり書いたりする活動に難しさがあり、取り組みに時間を要する。</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室で学習に15分間取り組むことができる。</li> </ul>  |
| 生<br>活<br>集<br>団<br>参<br>加                                  | 人<br>間<br>関<br>係  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人なつっこく、だれにでも親しく話しかけることができる。</li> <li>・特定の友達と仲良くしたい気持ちが強く、一方的にかかわろうとするため、トラブルになってしまうことがある。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達同士の会話に参加することができる。</li> </ul>  |
|   | 集<br>団<br>参<br>加  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がしたいと思ったことは、すぐに取り組もうとするなど、非常に意欲的で、順番を待つことが難しい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の順番や出番を椅子に座って静かに待つことができる。</li> </ul>  |
| そ<br>の<br>他   |                   |  |   |

| 学年・組                            |   | 4 年 組                         |   |   | 氏 名                              |                 |                       |                            |                         |                      |                       |
|---------------------------------|---|-------------------------------|---|---|----------------------------------|-----------------|-----------------------|----------------------------|-------------------------|----------------------|-----------------------|
| 教科等                             | 4月  | 5月                            | 6月                                      | 7月  | 9月                               | 10月             | 11月                   | 12月                        | 1月                      | 2月                   | 3月                    |
| 教<br>語<br>科<br>算<br>領<br>域<br>等 | 国   | こわれた千の楽器                      | 漢字辞典の使い方<br>みんなに知らせよう<br>お礼の手紙<br>主語と述語 | ヤドカリとイソギンチャク<br>漢字の読み方                          | 夏のはれもの<br>自分新聞づくり                | くらしの百科<br>ローマ字1 | 世界一美しいぼくの村<br>心の目を開いて | ウミガメの浜を守る<br>文と文をつなぐ言葉     | 活動報告を書こう<br>中の和と洋       | ぐんぎつね<br>漢字を正しく使う    | 1年間の思い出を伝えよう<br>ローマ字2 |
|                                 | 算   | 大きい数<br>円と球                   | 割り算<br>暗算                               | おおよその数<br>折れ線グラフ                                | 数の変化<br>1学期の復習                   | 小数              | 三角形                   | 割り算                        | 式と計算<br>整理の方法<br>2学期の復習 | 角と角度<br>分数           | 面積<br>4年のまとめ          |
|                                 | 域   | 春の生物や植物<br>1日の気温変化と天気         | 空気と水                                    | 電気のはたらき   | 夏の生物や植物<br>夏の空                   | 月と星の動き          | 秋の生物と植物<br>水の三つの姿     | ものの力<br>サと温度               | 人体の体のつくりと運動             | 冬の星の動き<br>金属のあたたまりかた | 冬の生物の様子<br>もうすぐ春      |
| 工                               | 身近な材料を使って<br>絵の具遊びから  | たのしいなかま<br>(のこぎり、とんかち、角材を使って) | ひみつの話(絵)                                | 美術鑑賞教室<br>よくみてかこう<br>あかりとゆめ<br>(ランプ、ペットボトルを使って) |                                  |                 |                       | さわりごごちも、いい感じ(カラージュ)        | ほってうつして<br>(彫刻刀、版表現)    | たのしいなかま<br>(平材の組合せ)  |                       |
| 通級指導                            | 通級指導教室( 市立 小学校 教室)の個別の指導計画を参照<br>担任は、電話連絡・訪問・来校等の方法で、通級指導教室担当者と定期的に、あるいは必要に応じて情報を交換・共有し、連携して指導や支援を進める。  |                               |   |   |                                  |                 |                       |                            |                         |                      |                       |
| 学校行事                            | 入学式<br>始業式<br>避難訓練  | 運動会<br>防犯訓練                   | みどりの学校<br>プール開き<br>図書館祭り                | 水泳指導<br>終業式                                     | 始業式<br>夏休み作品展<br>避難訓練<br>ふれあい遊学塾 |                 | 校内音楽会                 | 文化祭<br>作品展<br>持久走大会<br>終業式 | 始業式<br>書き初め展<br>福祉実践教室  | 芸術鑑賞会                | 感謝の会<br>卒業式<br>修了式    |
| その他                             | <在籍学級での支援><br>1日の開始時(朝の時間)に時刻を含む予定を知らせる。また、必要に応じて復唱させ、書かせて確認する。必ず取り組ませたいことの指示は、教員が視野の中に入り、注意を向けさせてから話す。<br>自由に好きなことだけをするのができないときは、終了のタイミングを始める前に知らせる。突然好きなことを中断しなければならないときは、次にいつできるかを伝える。<br>道徳や特別活動、行事等の場面で、互いの気持ちや立場を理解することの大切さを指導する。<br>家庭と協力し、教科学習の予習に取り組む。(具体的な課題を負担にならない分量で提示する。) |                               |   |   |                                  |                 |                       |                            |                         |                      |                       |

| 学年・組  |         | 4年 組  | 氏 名   |  |                  | 指 導 記 録          |   |  |   |
|-------|---------|---|---|--|------------------|------------------|---|--|---|
| 教科等   | 学期の指導目標 | 指導内容・指導方法・手だて等  | 指導の   |  |                  | 指導の経過と評価         | 価 値   |  |   |
|       |         |   | 目 標   | 内 容  | 方 法              |                  |   |  |   |
|       |         |   | 検 討 課 題<br>(次学期に向けて)  |  |                  |                  |   |  |   |
| 教 科 域 | 国 語     | ・「こわれた千の楽器」「ヤドカリとイソギンチャク」「夏のわすれもの」の本文をまとまりをもって読むことができる。 | ・事前に読むところを伝え、家庭でも練習するように促す。<br>・電子黒板を利用して視覚的な支援を行う。<br>文字の拡大、音読部分の着色<br>分かち書き、漢字にルビ                                   | 4<br>3<br>2<br>1   | 4<br>3<br>2<br>1 | 4<br>3<br>2<br>1 | ・教室で教科書を読むときも自信をもって読めるようになった。<br>・徐々にまとまりをもって読めるようになってきた。                       | ・今後は、電子黒板やワークシートで、「いつ」「だれが」「どこで」「どうした」等の疑問詞を示し、筋道を立てて話すことを支援する。                      |   |
|       |         | 算 数   | ・48÷3の仕方を図や式を使って説明することができる。   | ・教員が文章題を読み上げてから取り組むようにさせる。<br>・電子黒板を活用して、文章の要点や鍵になる言葉に印をつけたり、文章のポイントを絵や図にして示したりする。         | 4<br>3<br>2<br>1 | 4<br>3<br>2<br>1 | 4<br>3<br>2<br>1  | ・簡単な文章題では自分で図示し、解答できる問題も増えてきた。<br>・長い文章の問題や複雑な内容の文章題では難しい。                           | ・文章題の内容をできるだけ、経験した場面や興味のある題材にして、多くの文章題に取り組ませる。<br>・宿題やプリントにも要点に印をつける。 |
|       | 理 科     | ・「乾電池のつなぎ方と電流の強さ」の実験で、友達と一緒に実験を行うことができる。                | ・グループごとに実験の手順と役割を流れ図にしてから実験に取り組ませる。<br>電池を用意する・つなぐ<br>検流計を見る・記録する<br>・やりたいことがあるときには手を挙げたり、カードを提示したりするなどの方法を本児と一緒に考える。 | 4<br>3<br>2<br>1   | 4<br>3<br>2<br>1 | 4<br>3<br>2<br>1 | ・仲のよい友達の間では、順番を守ったり、分担された役割を果たすことができた。<br>・実験が終わると満足し、その後の考察には消極的だった。           | ・徐々にいろいろなメンバーと実験させることにより、学級内での人間関係を広げていきたい。<br>・実験経過をビデオで撮影し、電子黒板に投影することで興味関心を喚起させる。 |   |
|       | 図 工     | ・三角と四角を弁別することができる。                                      | ・具体物(角材)を使って実際に分類させる。<br>・形を弁別するための手がかりとして、言葉で図形の特徴を説明する。<br>・図形を描くときには厳密さを求めないようにする。                                 | 4<br>3<br>2<br>1   | 4<br>3<br>2<br>1 | 4<br>3<br>2<br>1 | ・三角と四角の具体物の弁別はほぼできた。<br>・模写については苦手意識があり、作業が中断することがあった。                          | ・引き続き具体物の操作を取り入れる。<br>・友達とペアで相互に相談し、教え合いながら学習を進め、苦手意識の軽減を図りたい。                       |   |
|       | 授 業 参 加 | ・ワークシートに15分間程度取り組むことができる。                               | ・個別の課題を用意する。<br>・自分で選択できるように複数の課題(ワークシート)を準備する。   | 4<br>3<br>2<br>1   | 4<br>3<br>2<br>1 | 4<br>3<br>2<br>1 | ・得意な内容を入れることで10分間課題に取り組むことができた。<br>・ワークシートを使う場合、個別に説明すれば、取り組むことができた。            | ・得意な内容を多くしたり、問題数を減らしたりする。<br>・作業手順(解き方)を分かりやすく記載したワークシートにより、できるだけ一人で取り組ませる。          |   |
|       | 生 活 面   | 人間 関係 団 体 参 加   | ・休み時間や話し合い活動で会話に参加することができる。   | ・「今いい?」「ちょっと。」など声かけの具体的な方法を提示する。<br>・話し合い活動のルールを決めて、学級全体で確認しておく。<br>手を挙げてから話す。<br>分以内で話す。等 | 4<br>3<br>2<br>1 | 4<br>3<br>2<br>1 | 4<br>3<br>2<br>1  | ・自ら声かけをして友達に話しかけることが増えてきた。<br>・話し合い活動で突然話し始めることは減ったが、一人で一方的に長時間話すことがあった。             | ・声かけのレパトリーを増やすようにする。<br>・タイムタイマーやチャイムを使って発言の終わりを意識させる。(学級全体の了解を得る。)   |
|       |         | ・運動会するとき、待機場所で順番を待つことができる。                              | ・自分の出番がいつ頃になるか書いて示す。<br>・待てなくなったとき「救護所(あるいはトイレ)に行きます。」と席を立ち、気分転換できるようにする。   | 4<br>3<br>2<br>1   | 4<br>3<br>2<br>1 | 4<br>3<br>2<br>1 | ・運動会では、10分前に待機場所に行き、出番を待つことができた。<br>・終業式では、許可を得て、その場を一度離れることで、30分間着席して待つことができた。 | ・学校行事の参加のルールを授業においても活かせるか検討する。<br>・気分転換の場所を近くにしたり、離席する時間を短くしたりして、参加できた達成感をもたせる。      |   |

|                    |   |       |        |
|--------------------|---|-------|--------|
| 児 童 名              |   | 学校・学年 | 小学校 4年 |
| 長 期 の 目 標<br>(1年間) | 人との適切な関わり方を理解することができる。<br>文章の音読や漢字の読み書きができる。<br>算数の基礎的な内容を理解することができる。 |       |        |
| 指 導 期 間            | 平成 年 月 ~ 平成 年 月   |       |        |
| 週 時 数              | 週2時間  |       |        |
| 指 導 形 態            | 個別指導・グループ指導   |       |        |

| 前期の指導目標                    | 指導内容・指導方法・手立て等   | 評 価   |
|----------------------------|--|---|
| 少人数の活動に落ち着いて参加することができる。    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級や家庭での様子や困ったことを聞き取り、適切な行動について話し合う。</li> <li>・グループ指導を行い、友達への適切な言動を考えさせる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員と一緒に学校や家庭での出来事を振り返り、話し合うことで、いろいろな問題を解決しようと考えようになった。</li> <li>・学級で困ったことがあると、通級指導教室に来て相談をするようになった。</li> <li>・グループ指導の場では、友達に対して強い態度で接することがなくなり、穏やかにかかわることができた。</li> </ul>                                |
| 文章の音読に慣れ、決められたいくつかの漢字を覚える。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行間、ふりがな、分かち書き、文字の大きさを工夫して、教科書の本文を分かりやすい表現に置き換えた教材を作成する。</li> <li>・漢字九九を使い、意味づけをして漢字を練習する。</li> <li>・学級で使うワークシートについては、書き方を教え、援助する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成した教材を使った「こわれた千の楽器」「ヤドカリとイソギンチャク」「夏のわすれもの」の音読練習では、読む量を加減することで、集中して取り組むことができ、上達した。</li> <li>・漢字九九を使って漢字練習に取り組み各単元で10ずつの漢字を覚えることができ、自信をもつことができた。</li> </ul>  |
| 図形や小数の内容を理解することができる。       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の重要な語句をヒントカードに書いて示す。</li> <li>・小数の大きさをカードで示し、具体的な操作を通して内容を理解させる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・分度器を使って角度を測る学習では、手順を覚えて、正しく測ることができた。</li> <li>・180度より大きい角度を作図するときは援助が必要だが、何度も取り組むなど意欲的だった。</li> <li>・小数では、1より小さい数やその位の意味を理解することに時間を要したが、カードで図示することで徐々に理解することができた。</li> <li>・計算には自信をもって取り組んだ。</li> </ul> |